

# ブロック塀点検表

点 檢

申請者名：

点 檢 日：

点検項目に従って、点検してください。基本性能値、外観係数、耐力係数、保全係数を求めましょう。

## ◆基本性能の点検(基本性能値)

点 檢 項 目		基準点	評価点
建 築 後 の 年 数	10 年 未 満	10	①
	10 年 以 上、20 年 未 満	8	
	20 年 以 上	5	
高 さ の 増 積 み	な し	10	②
	あ り	※	
使 用 状 況	塀 单 独	10	③
	土留め、外壁等を兼ねる	0	
基 础 (塀下の擁壁を含む)	あり 良好	10	④
	あり 根入れ深さ等不十分(確認不能)	※	
	な し	※	
塀 の 高 さ	1.2m 以 下	15	⑤
	1.2m を越え、2.2m 以 下	10	
	2.2m を越える	0	
塀 の 厚 さ	15cm 以 上	10	⑥
	12cm	8	
	10cm	5	
透 か し ブ ロ ッ ク	な し	10	⑦
	あ り	5	
鉄 筋	あ り	10	⑧
	な し(確 認 不 能)	※	
控 え 壁 ・ 控 柱 ・ 直 交 壁	あ り	10	⑨
	な し	5	
か さ 木	あ り	10	⑩
	な し	5	
基本性能値(①～⑩の評価点の合計)			a

## ◆壁体の外観点検(外観係数)

点 檢 項 目		基準係数	評価係数
全 体 の 傾 き	な し	1.0	⑪
	あ り	0.7	
ひ び 割 れ(亀 裂)	な し	1.0	⑫
	あ り	0.7	
欠 け・はく離・損 傷(目地割れ)	な し	1.0	⑬
	あ り	0.7	
著 し い 汚 れ(風 化・劣 化)	な し	1.0	⑭
	あ り	0.7	
外観係数(⑪～⑭の最も小さい)評価係数			b

## ◆壁体の耐力点検(耐力係数)

点 檢 項 目		基準係数	耐力係数
ぐ ら つ き	動 か な い	1.0	c
	わ ず か に 動 く	0.8	
	大 き く 動 く	0.5	

## ◆保全状況の点検(保全係数)

点 檢 項 目		基準係数	保全係数
補 強・転倒防止対策等の有無	あ り	1.5	d
	な し	1.0	

注) [※印]に該当する項目がある場合の総合評点は[危険である]と判定します。

- \* 1 鉄筋の有無は、感度の良い方位磁石をブロック塀に近づけたときに、針が振れることで確認できます。
- 2 ぐらつきは、まわりに人がいないのを十分確認して点検してください。

点検結果から、総合評点を求めましょう。

$$\text{基本性能値 } a \times \text{外観係数 } b \times \text{耐力係数 } c \times \text{保全係数 } d = \text{総合評点}$$

※裏面に続く

## 総合評点

総合評点から、点検結果を判定しましょう。

総合評点	判 定	今後の対応
70点以上	安全と思われる	3~5年後にまた点検しましょう
55点以上~70点未満	一応安全と思われる	1年後にまた点検しましょう
40点以上~55点未満	注意が必要	精密点検を行い、再度判定するか、転倒防止対策等を講じましょう
40点未満	危険である	早急に転倒防止対策を講じるか、撤去しましょう

※ 危険ブロック塀等撤去奨励補助金の交付を受ける条件である、「危険性があると認められるブロック塀等」とは、総合評点が55点未満のものです。

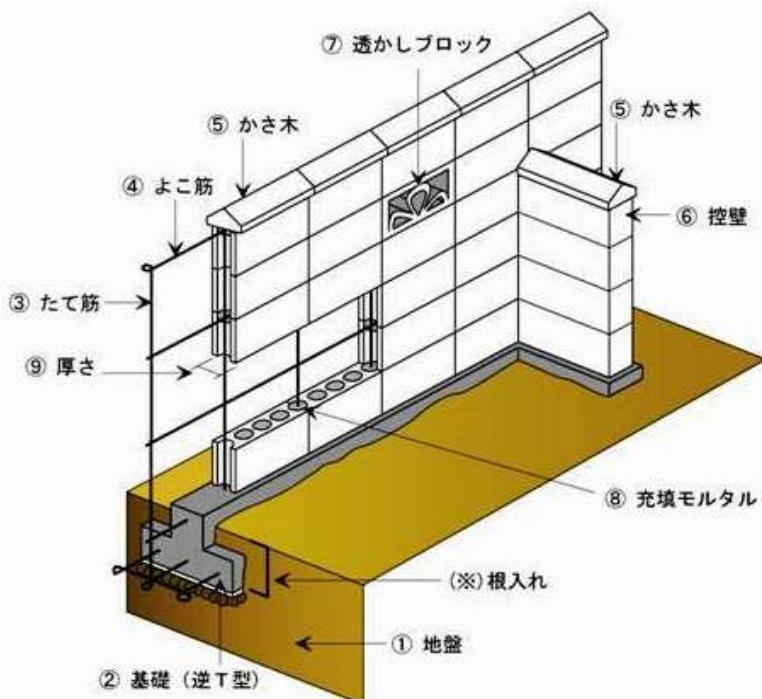
<参考資料>

### ブロック塀の基準

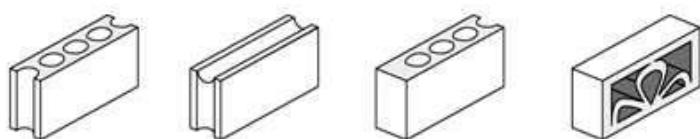
ブロック塀については建築基準法に定めがありますが、日本建築学会では建築基準法をふまえ、より細かな数値で「コンクリートブロック塀設計基準」を定めています。

ブロック塀の基準は、日本建築学会基準を引用しています。

### ブロック塀の仕組み



### ブロックの種類



基本

よこ筋用

隅用

透かし

- ① 地盤：地盤は、塀全体を支え、基礎から一体となった塀の転倒に抵抗する役割を果たします。
- ② 基礎：基礎は、鉄筋コンクリートで堅固に作り、塀本体と一緒にし、最低でも35cm以上地中に根入れ(※図)して転倒しないようにします。基礎の形状はI型のほか、抵抗力の大きなL型、逆T型などがあります。
- ③ たて筋(たて方向の鉄筋)：たて筋は、横からかかる力(横に押す力)に抵抗する重要なものです。基礎としっかりとつなぎましょう。
- ④ よこ筋(よこ方向の鉄筋)：よこ筋は、壁体の長さ方向を強固に一体化するもので、控壁がある場合は、特に重要な役割を果たします。
- ⑤ かさ木：塀本体へ雨水等が浸入するのを防ぎ、ブロック及び鉄筋を保護します。
- ⑥ 控壁：控壁は、塀の転倒に対する抵抗力を増すために、長さ3.4m以内ごとに設けます。
- ⑦ 透かしブロック：透かしブロックは、塀に表情を与えますが、透かしブロックを多用すると、壁体の強度を低下させます。できる限り使用しないようにしましょう。
- ⑧ 充填モルタル：充填モルタルは、鉄筋とブロックを一体化させるもので、強固な壁体を造るとともに、鉄筋を保護する役目を果たします。鉄筋の周辺部にモルタルがしっかりと充填されないと、塀の強度低下や劣化を早めることになります。
- ⑨ 壁の厚さ：ブロックの厚さを言います。15cm(高さ2.0m以下の塀では12cm)以上のものを使用してください。